

静岡県焼津市 山の手環状交差点



交差点の概要

山の手環状交差点は、郊外における交差点事故抑止対策として整備しました。交差点にはセミトレーラ連結車などの大型車が通行するため、運送事業者の協力を得て通行実験を繰返し実施し、調整を図りながら、交差点構造物の形状や配置を計画しました。

全流入箇所に分離島を設置し、横断歩行者の安全確保や、逆走防止などを図っています。

環道とエプロンとの境に段差（2 cmから5 cm）を設けることで、小型車のエプロンへの乗り入れを抑制し交差点内の速度抑制を図っています。

中央島内は、交差点の視認性を確保するため、マツバギクなどの地比類を植栽し、交差点名（山の手）を記した石碑を設置しています。

| | |
|--------|--------------|
| 交差点形状 | 4枝 |
| 外径 | 27.0m |
| 環道幅員 | 5.0m (5.5) ※ |
| エプロン幅員 | 2.0m (2.5) ※ |
| 中央島 | 11.0m |
| 交通量 | 約4,500台/日 |

※路肩幅員を含む

交差点の平面図



交差点の断面図



通行状況

